

令和6年度 第10回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和7年1月21日（火） 午後7時から8時30分まで
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委 員 : 15名
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 令和6年度第9回上郷地域会議の会議録の確認について
- 3 協議事項
 - （1）協議対象の絞り込み
- 4 その他
 - （1）上郷地域バスについて
 - （2）次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和6年度第9回上郷地域会議の会議録の確認について

・第9回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

3 協議事項

（1）協議対象の絞り込み

- ・協議対象の絞り込み方法を、前回の優先順位付けの「視点」をどうするか、から、より対象を絞り込みやすくするため、前回会議までのグループワークの協議結果をまとめた「グループワーク 意見まとめ」の中で、主旨が類似している意見を4つの対象に事務局が分類し、この中から、上郷地区の防災を考える上で、「何が最も大事な対象だと思うか」と「なぜそれが大事だと思うか」という絞り込み方法に変更した。なお、4つの対象は以下のとおり。
 - 対象①：【自助】個人の備えに関すること
 - 対象②：【共助】自治区・自主防災会の体制に関すること
 - 対象③：【共助】自治区間の連携に関すること
 - 対象④：避難所（ハード面）に関すること
- ・会長グループと副会長グループに分かれて、4つの対象の中から「何が最も大事な対象だと思うか」と「なぜそれが大事だと思うか」を協議した。
- ・グループ協議後、各グループの代表者から以下のとおり協議結果を報告した。
 - 会長グループ：対象②が最も大事な対象であるという結論となった。まずは自分の命を守ることが大切だという意見も出たが、自治区として行動を取ることで、動きが分からない、行動が取れない個人の

フォローになってくるのではないかということから対象②とした。各自治区には自主防災会があるが、自分の自治区では活動できていないため、これを良いきっかけとしていきたい。また、上郷地区では 12 月の第 1 日曜日を上郷防犯の日と定めているが、同様に防災の日を定めていくと良いという意見が出た。

副会長グループ：災害経験が少なく、危険な地域であることが理解されていない、個人の意識が低いのではないかという意見からと、対象①が大事ではないかという結論となった。対象②・③も当然大事なことで、できればこれらを同時進行で協議していきたいが、1つの対象に絞り込むのであれば、個々の備えから自治区や自主防災会、地域や市、とどんどん枝分かれして議論を進めていくことになると思うため、まずは個々の部分をスタートとして、何が大事なのかを再度話し合ってはどうか。

- ・次回会議の進め方は、各グループの話し合った内容を事務局でまとめ、事務局と会長・副会長と相談しながら決めていくこととした。

【グループ協議実施前の質問】

- ・(委員)「グループワーク 意見まとめ」の中に、マイタイムラインの意見があったが、事務局が分類した4つの対象の中に記載が無い。どの対象に含まれているか。
(事務局) マイタイムラインを作成しないことで、誰が・いつ・どのように困るかの協議結果を踏まえて、対象①の「(水害時の)避難行動計画を立てておらず、発災前に適切な行動が取れない」に集約している。

【グループ協議実施後の質問・意見】

- ・(委員) 副会長グループの発表内容が、対象①について議論したが対象②・③の議論ができていないというように聞き取れたが、もう少し対象を絞り込む時間を費やして対象②・③の議論をしたら結論が変わるということはあるか。
(委員) 第6回から第9回会議にかけて実施してきたグループワークで対象②・③の協議をしてきたうえで出した結論である。本当なら対象②・③も同時に協議していきたいが、まずは、対象①からではないかという結論になった。
- ・(事務局) 今後の協議の進め方について、対象①と②の議論をしていくこととした場合、全員で①と②を順番に協議するか、グループに分かれて①と②それぞれの協議を行い全体で共有するか、どちらが良いか。
(委員) 前者で良いのではないか。
(委員) まずは対象①から進めていくのであれば副会長グループの協議結果をもとに、次に対象②について協議していくときには会長グループの協議結果をもとに進めていけば良いのではないか。
(委員) 例えば、2月会議で対象①について協議、3月会議で対象②について協議という形で進めていった場合に時間的な余裕はあるのか。
(事務局) 想定しているスケジュールでいくと、2・3月は予備期間としているため、それぞれの対象を1か月ずつでまとめられれば、概ねスケジュールどおり

となる。

(委員) 対象①も②もどちらも大事なことで、まずは各グループの意見を聞いて話し合えば良いのではないか。

(委員) 7～8人のグループで意見交換をしても30～40分かかった。合同で協議する場合に、例えば1人ずつ意見を聞いていくと相当時間がかかる。意見を聞いて、それをまとめ、方向性を決めるとなるともっと時間が必要になる。進め方の形を変えないと、いくら2・3月が予備期間といえど大変になるかと思う。

(事務局) 次回以降の進め方について、対象①と②を主軸にすることを前提としながら、両グループの本日の協議内容は事務局も聞いているため、その内容を事務局内で共有しつつ、会長・副会長と相談して決めていきたい。防災は、国の機関を筆頭に様々なところで考えられて今に至っている。そんな中で、すべての問題を地域会議で話し合って解決できるかということ、それは難しい。事務局からの説明であったように、誰にどんなことを提案するのか、市への提言なのか、そうではない形になるのかということも踏まえて、次回以降の会議で協議をしていただきたい。また、本日の協議内容もそういった視点も加味して整理させていただくということでご了承いただきたい。

4 その他

・次の事項について、事務局から連絡があった。

(1) 上郷地域バスについて

(2) 次回の地域会議について

◆次回会議開催

◇令和6年度 第11回地域会議

と き：令和7年2月18日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール